

事業シート(令和3年度決算)

事業名	41400 救急医療対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます。また、救急医療体制の充実強化を図り、誰もが安心して医療を受けられる環境をつくりま
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	保健衛生費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画				
			目	4	地域医療対策費						
担当課	市民保健部 医療課	内線	2802								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。	概要	・休日診療所の開設(日・祝・年末年始、医科及び歯科) ・在宅当番医制・病院群輪番制病院(久美愛厚生病院、飛騨市民病院)への運営費の補助 ・救命救急センター(高山赤十字病院)への運営費等の助成 ・24時間電話医療相談の実施や救急早見表の配布などによる適正な救急医療受診の啓発
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.2%	63.7	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			増減(b)-(a)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		106,397	101,400	101,817	101,817	98,024	△ 3,376
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入、福祉健康基金繰入等)	37,501	26,018	35,274	35,274	27,559	1,541
一般財源		68,896	75,382	66,543	66,543	70,465	△ 4,917
個票枝番	主な事業内容						
	休日診療所の運営	21,030	18,799	16,700	16,700	14,190	△ 4,609
	24時間電話医療相談	3,000	2,385	3,000	3,000	1,782	△ 603
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	41,977	41,977	41,977	41,977	41,977	0
	救命救急センター運営費等助成	40,000	37,865	40,000	40,000	40,000	2,135

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		102,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
101,252	99,781	99,781	△ 2,036	
26,027	35,732	35,732	458	
75,225	64,049	64,049	△ 2,494	
査定額	説明			
15,330				
2,340				
41,977				
40,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科 利用者数 353人 歯科 利用者数 99人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・24時間電話医療相談の相談件数 1,292件
評価等	・市が休日診療所を運営することにより、市内の各救急医療施設が患者の重症度に応じた役割を発揮することができた。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、マスクの着用、手洗いの励行、密を避ける行動等が多くの方に習慣として意識づけられたことで、インフルエンザ等の感染症や風邪による受診者や相談者が減少した。 ・休日診療所での感染症の感染拡大を予防するため、発熱者専用の診察室を準備し、その動線を分ける対策を講じた。また、フェイスシールドや手袋などの予防具の配備により、スタッフの感染予防対策にも努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視しながら、市民が安心して受診できるよう、休日診療所の適切な感染予防対策を継続する。 ・救急医療施設の運営支援については、それを担う国や県との役割分担の状況を整理し、実態に応じた支援を行う。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科 利用者数 436人 歯科 利用者数 108人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・24時間電話医療相談の相談件数 1,427件
評価等	・発熱者専用の診察室の準備や、その動線を分ける等の対策の継続により、休日診療所における安心・安全な診療体制を確保できた。 ・24時間電話医療相談事業の継続により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及啓発を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視しながら、市民が安心して受診できるよう、休日診療所の適切な感染予防対策を継続する。 ・救急医療施設の運営支援については、長引く感染対策による影響や、国や県からの支援状況も整理し、実態に応じた支援を行う。

担当課 予算要求 ポイント	・市民が安心して受診できる救急医療体制の構築に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます。また、救急医療体制の充実強化を図り、誰もが安心して医療を受けられる環境をつくりま す。 ・社会福祉の充実を目指し、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)登録制度の利活用を進めます。
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現		
			項	1	保健衛生費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画		
			目	4	地域医療対策費						
担当課	市民保健部 医療課	内線	2802								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から専門医等までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.2%	63.7	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		182,810	153,778	172,710	226,840	182,296	28,518
特定財源	国費( )						
	県費( 地域医療確保事業 1/2 )	6,360	3,845	6,215	6,215	3,845	0
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	3,130	3,130				△ 3,130
一般財源		173,320	146,803	166,495	220,625	178,451	31,648
個票枝番	主な事業内容						
	医学生実習事業補助金・臨床研修支援事業補助金	12,000	8,560	14,600	14,600	14,440	5,880
	医師確保支援事業補助金・病院設備整備・院内保育事業運営等補助金	127,200	125,408	127,200	181,330	146,193	20,785
	放射線治療の教育研究に対する助成・三次周産期医療機関の医師確保に対する助成	17,700	15,972	17,700	17,700	15,420	△ 552
	岐阜大学医学部「地域医療コース」修学に対する支援	6,000	600	6,000	6,000	4,200	3,600
	医学生を対象としたガイダンスへの参加	4,000	366	3,700	3,700	644	278
◎ 1	感染症対策のための医療従事者の宿泊に対する助成	10,000	40	1,000	1,000	0	△ 40
	岐阜大学と連携した産婦人科医療体制の研究(講演会、講座など)	3,000	1,620				△ 1,620

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
184,370	178,980	178,980	6,270
6,502	6,435	6,435	220
177,868	172,545	172,545	6,050
査定額	説明		
17,600			
127,200			
17,700			
9,600			
4,140			
100			
330			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生1名の修学資金を支援
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後より多くの学生への利用促進を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ガイダンスや研修事業を中止する等影響が及んだ。
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生1名、新入生3名の修学資金を支援
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後より多くの学生への利用促進を図る。 ・長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、研修医確保を目的としたガイダンスへの出席は昨年度に引き続き実施できなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視し、リモート等実施方法を工夫しながら医師確保対策事業を展開する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・医師等の育成・確保のための環境整備等、各種施策に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	医療課
枝番・内容	1 感染症対策のための医療従事者の宿泊に対する助成		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	4	衛生費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	保健衛生費	内線	2802	
		<input type="checkbox"/>		目		4	地域医療対策費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・新型コロナウイルス感染症患者または感染が強く疑われる者に接した医療従事者が、家族等への感染拡大を防ぎ安心して業務に従事できるよう、宿泊施設利用に要した費用の一部を助成することで、この地域に必要な医療人材を維持・確保する。	概要	・補助対象者：市内の感染症指定医療機関、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ病院、宿泊療養施設（後方支援施設）及びこれらの機関や地域外来・検査センターに勤務し、感染が強く疑われる者または患者に接触した者 ・補助対象経費：家族等への感染拡大防止のため自宅等への帰宅を望まず宿泊施設に宿泊した際の経費（食事代等宿泊以外の経費は含めない） ・補助金の額：1泊5千円を上限
----	---	----	--

[参考] R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	10,000
	最終	
決算額		40
対前年度増減額(決算)		

[参考] R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・新型コロナウイルス感染症患者に対応した医療従事者が家族等への感染拡大を防止するために、宿泊施設利用に要した費用に対する助成(一人1泊5千円を上限)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	
執行額		0
対前年度増減額(決算)		

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	査定額	100
主な経費	・新型コロナウイルス感染症患者に対応した医療従事者が家族等への感染拡大を防止するために、宿泊施設利用に要した費用に対する助成(一人1泊5千円を上限)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・8名分(1件あたり:5千円)助成	
[評価等]	
・市内の医療機関等へ事業の周知と活用促進を図った ・市内において新型コロナウイルス感染症が拡大すると、市内の宿泊施設の殆どが休業となる事態が継続 ・医療従事者が、宿泊施設の利用を希望しても結果的には利用できない状況が継続	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
目的 ・医療従事者からその家族等への感染拡大防止とその不安の軽減 ・医療機関や医療従事者の宿泊に係る経費の負担の緩和  R3実施内容 ・新型コロナウイルス感染症患者等に接した医療従事者が、宿泊施設を利用する際の宿泊に要する経費への補助	
[スケジュール]	
・R3年4月～ 引き続き補助の申請を受け付け 予算額(200件×5千円=1,000千円) ・医療機関へ事業の周知	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・利用実績なし	
[評価等]	
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大時においても宿泊が可能な施設は依然少なく、医療従事者が希望する時に宿泊できる施設の確保は難しい状態が継続	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
目的 ・医療従事者からその家族等への感染拡大防止とその不安の軽減 ・医療機関や医療従事者の宿泊に係る経費の負担の緩和  R4実施内容 ・新型コロナウイルス感染症患者等に接した医療従事者が、宿泊施設を利用する際の宿泊に要する経費への補助	
[スケジュール]	
・R4年4月～ 引き続き補助の申請を受け付け 予算額(20件×5千円=1,00千円)	